

(別紙1)

## 管理運営状況 評価シート【令和4年度】

(評価日令和5年6月6日)

### 1 施設の概要

施設名	種市漁港海岸休養施設
所在地 電話・FAX HP・電子メール	九戸郡洋野町種市 18-105 電話 0194-65-2111 FAX0194-65-4334
設置根拠	海岸休養施設条例
設置目的	(設置：平成11年4月1日) 海岸の区域における休養の場を提供することにより、県民の保健及びレクリエーション活動に資するため
施設概要	1 敷地面積 緑地広場・キャンプ場 21,000 m <sup>2</sup> 駐車場 5,000 m <sup>2</sup> 2 建物面積 シーサイドハウス 499 m <sup>2</sup> (延床面積) 3 主な施設 更衣室、ロッカー、温水シャワー、トイレ、展望室
施設所管課	岩手県農林水産部漁港漁村課 (電話 019-629-5828、メールアドレス AF0001@pref.iwate.jp)

### 2 指定管理者

指定管理者名	洋野町
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)
連絡先	洋野町水産商工課 (Tel.0194-65-5916)

### 3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	施設使用許可に係る事務及び施設管理							
職員配置、管理体制	2名(R5年3月31日現在) (内訳) 正職員2名、他外部委託(清掃、監視等)	組織図	<table border="1"><tr><td>課長</td><td>—</td><td>課長補佐兼 水産振興係長</td><td>—</td><td>水産振興係</td></tr></table>	課長	—	課長補佐兼 水産振興係長	—	水産振興係
課長	—	課長補佐兼 水産振興係長	—	水産振興係				
利用料金	キャンプ場：テント1張り/1日 1,000円 温水シャワー：大人200円、子供100円 コインロッカー：100円							
開館時間	規定なし	休館日	規定なし(冬季間閉鎖)					

### 4 施設の利用状況

(単位：人)

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		H30	H31	R02	R03	R04	期間平均	
第1四半期								
第2四半期								
第3四半期								
第4四半期								
年間計(実績)	20,863	36,207	34,185	5,754	7,306	8,795	18,449	
年間計(計画)								

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区 分	前期間 平均	指定管理期間						備考	
		H30	H31	R02	R03	R04	期間平均		
収入	利用料金収入	654	555	582	817	662	702	664	
	県委託料								
	自主事業収入	453	476	488	461	387	515	465	
	小計	1,107	1,031	1,070	1,278	1,049	1,217	1,129	
支出	人件費	78	38	39	29	206	258	114	
	維持管理費	2,884	2,822	2,728	2,967	3,018	3,870	3,081	
	事業費								
	自主事業費								
	小計	2,962	2,860	2,767	2,966	3,244	4,128	3,195	
収支差額	▲1,855	▲1,829	▲1,697	▲1,718	▲2,175	▲2,911	▲2,066		

## 6 利用者の意見等への対応状況

### (1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	来場者からの聞き取り等	実施 主体	指定管理者（洋野町）
------	-------------	----------	------------

### (2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 件、要望 2件、その他 件
主な苦情、要望等	対応状況
① キャンプ場までの車両の乗り入れについて	荷物運搬の負担減に対応するため、キャリーカートを導入している。車両の乗り入れについては、安全管理上許可できない旨伝えている。
② オートキャンプ場にしてほしい	要望があった旨県へ連絡済。
③	
その他利用者からの積極的な評価等 施設の衛生管理について、評価をいただいている。	

## 7 業務点検・評価（※）

### (1) 業務の履行状況

項 目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価 指標
運営業務	基本協定書に記載した運営業務を良好に実施すること	基本協定に則り、業務を良好に遂行している。	B
施設の利用状況	利用者の平等な利用を図り、設置目的を達成すること	利用者には、丁寧親切に接しており、施設の利用状況は良好である。	B
事業の実施状況	利用促進のための方策を実施すること。	町ホームページや民間情報誌等において施設PRを行っている。	B
施設の維持管理状況	基本協定書に記載したリスク分担表に基づき良好に維持管理すること	基本協定に則し、施設を良好に維持・管理している。	B
記録等の整理・保管	施設の運営に関し作成し、取得した書類等は、五年間保存すること。	関係書類については、管理開始年度から継続保存している。	B
自主事業、提案内容の実施状況	施設の利用促進のため、マリンフェスタ等のイベントの実施	イベントを開催することで、施設の利用促進が図られている。	A

(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	コロナ禍で例年通りのイベントが出来ず、施設利用者の確保に例年以上に苦慮したところではあるが、「コロナ終息祈願花火」の開催により施設利用促進に努めた。 特になし。	B
-----------------------------------	---	---

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	使用許可、施設巡回等のため町担当職員2名を配置すること	担当職員2名を配置し、施設巡回等を定期的実施している。	B
苦情、要望対応体制	町担当職員により、責任ある対応をすること。	苦情・要望等に対しては、担当職員が早期に対応している。	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害発生時は、地域防災計画に基づくなど、適正に対応すること。	洋野町地域防災計画等に基づき、適切に対応することとしている。	B
コンプライアンスの取組み、個人情報の取扱い	基本協定書中の個人情報取扱特記事項に基づき適正に取り扱うこと	基本協定に則り、適正に取り扱っている。	B
県、関係機関等との連携体制	管理運営に当たり、協力・連携に努め、良好な関係を維持すること	適正な施設管理運営のため、連携を密にしている。	A
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	協定書のとおり実施され、適切な運営体制である。また、県との連携を密にとり、施設の適切な維持管理に努めている。 特になし。		B

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
運営業務	管理運営業務仕様書に基づき、管理運営業務を実施すること。	管理運営業務仕様書のとおり実施している。	B
利用者サービス	事業計画書に基づき、利用サービスの向上を図ること。	ニーズに応じた施設開放や設備配置など、サービス向上に努めている。	B
利用者アンケート等	サービスの質を向上させるため、利用者アンケート等に努めること	利用者からの聞き取りによりサービス向上に向け取り組んでいる。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	協定書の内容のとおり実施され、適切なサービスが提供されている。 特になし。		B

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	事業計画を適切に実施するため、収支の均衡を図ること。	収支の均衡を図るため、経費節減及び利用促進に努めている。	B
指定管理者の経営状況	指定管理業務を適切に辞するため、良好な経営状況であること	指定管理業務を適切に実施するため、良好な経営状況となるよう努力している。	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	継続して自主事業（自動販売機の設置）を行い、収入確保に努めている。 指定管理者の持ち出しによる負担が毎年度一定程度ある。		B

※（注1）県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2）評価指標

A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理が

なされている。

B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。

C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。

D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

## 8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

### (1) 指定管理者の自己評価

① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項 たねいちウニまつり、マリフェスタ、シーサイド花火大会、ビーチサッカーフェスティバル、ビーチバレーフェスタ、サーフィン体験教室など、多彩な催しにより、施設の利用拡大と町のイメージアップに大きく貢献している。また、キャリーカートを導入など施設利用者の利便性について、一定の効果があったものと考えている。
② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項 施設開場以来、年々、利用者が減少していることから、平成 29 年度には、施設をPRするため、パンフレットのリニューアルを実施している。今後も利用者増加について、積極的に取り組みたい。
③ 県に対する要望、意見等 ・ 近年キャンプ等が流行し、利用者は増加傾向であるが、グランピングやモバイルコテージ、車中泊等、レジャースタイルの多様化が進んでいるため、更に利用者増加を図るため施設のリニューアル等についてお願いしたい。 また、台風・時化等により海水浴場及び漁場への堆砂（一部海域埋没）が進んでおり、施設周辺に漂砂し、砂の除去に苦慮している状況である。施設利用や管理、家屋、漁場等にも影響し、漁業者からは早期対策を迫られていることから、堆砂除去についてお願いしたい。 ・ トイレ等の案内表示塗装塗りなおし。 ・ 老朽化により立入禁止としている四阿の対応 ・ 破損した管理棟前の時計柱の修繕

### (2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について ・ イベントの開催、施設の周知及び利用者の拡大に努めており、評価できる。 ・ キャンプ場や海水浴場の実際の利用に結び付くよう、引き続き取り組んでいく必要がある。
② 県の対応状況について（自己評価） ・ 指定管理者と密に連携をとり、情報共有を行っている。 ・ 各種修繕を対応し、施設の維持管理に努めている。 ・ 堆砂除去について検討を進めている。 ・ 多様化するレジャースタイルに対応できるよう検討を進めている。 ・ 施設の老朽化等の対策について検討を進めている。
④ 次期指定管理者選定時における検討課題等 ・ 指定管理者の持ち出しによる負担が毎年度一定程度あることを踏まえ、施設の利用拡大・利用者増加に向けた対策等について検討していく必要がある。

## 9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）
改善状況 （指定管理者から県への報告年月日： 年 月 日）
改善状況の確認 （再評価年月日 年 月 日）